



自社製品の紹介

2017年の序盤は、アルミ製真空チャンバーの製作依頼を多数いただいております。

チャンバーのサイズは、W:190mm×D:140mm×H:75からW:600mm×D:400mm×H:365まで様々で、表面はアルマイト処理に対応し、蓋など頻繁に取り外しするネジ部はヘリサート補強を施してありますので、耐久性にも配慮した高品質な仕様となっております。

軽量化や使い勝手の良さをお求めの方は、アルミ製の真空チャンバーの製作をご検討下さい。

赤田工業のセミオーダー製品は、1品から設計・製作対応をしておりますので、お気軽にお問い合わせください。



●NHK超絶凄ワザ！に出演●

～究極の断熱ボックスで対決！！～

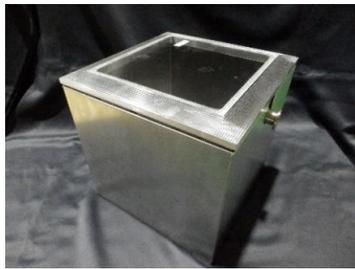
既に、2月に放映されましたが、静岡の断熱材会社と赤田工業平均年齢25歳の若手社員7名がNHK凄ワザに出演し対決しました。

その内容はと言うと・・・

- ①極寒編 「-196℃の液体窒素で冷やしたボックスの中で、どこまで水を凍らせないか！！」
- ②しゃく熱編 「500℃の鉄板の上にボックスをのせて、中の氷がいかに溶けないか！！」
- ③長時間編 「高温サウナの中に入れて、いかに中のアイスが溶けないか！！」

規定、34cm角で2cmの厚みのボックスで対決するというものです。弊社では、真空の技術を駆使し、究極のボックスを作り上げました。

ただの鉄のボックスだと・・・①の液体窒素の場合、3分間で水が凍ってしまうところ・・・**35分間**。②の鉄板の場合、3分30秒で溶けてしまうところ・・・**16分間**。③の長時間対決の場合、2時間の対決で**12g**のアイスが溶けるという結果でした。残念ながら惜しくも相手チームに負けてしまいましたが、約700℃と言う温度差の中で、これだけの結果が出せたと言う事は、真空容器技術で若手技能者が挑んだ事は、本当に素晴らしいと思えました。そして、チャレンジしてくれた7名の社員は、大きな経験になりこれからの真空技術の可能性が大きく広がっていくことだと思います。



★社員紹介★

我が社で働いている社員で、国際人材育成機構より、政府派遣技能実習生を受け入れてから20年がたち、今年も2月23日に新しい技能実習生が1名入社致しました。

インドネシア出身のリアン・プルワイトさん(中央)です。日本で3年間技術を学びその後、母国で活躍する予定です。入社当日、インドネシア国旗を掲揚しました。

3年目 プディ・トリマワラナさん

2年目 バグストリ・ステイワンさん



先輩の2名は、日本語能力試験N3級に見事合格！（合格率33%）

バグスさんは、国家技能検定 機械検査3級に合格の快挙達成！（全国の研修生でも希少）

☆営業からの一言☆

社内での仕事や行事の内容をまとめ、年間4回発行しております。

赤田工業(株)

長野県北安曇郡池田町大字会染6108-75

TEL:0261-62-2235

FAX:0261-62-9071

E-Mail: info@akada.jp

URL: http://www.akada.jp

(シェフ通信をメールにてご希望の際は、上記アドレスへご連絡
お願い致します。) 編集者: 富成・松井・高橋

新3次元レーザー加工機(三菱電機製)を導入しました。

- 見学会 : 平成29年3月24日(金) AM9:00- PM5:00
お越しの際には、事前にご連絡を頂けると助かります。



最大ワークサイズ : 2500*1600*H550
最大板厚(切断の場合): 鉄・・・16mmまで
: ステンレス・・・8mmまで
: アルミニウム・・・6mmまで
最大板厚(溶接の場合): 鉄、ステンレス共に、6mmまで

●加工可能な製品の特徴●

- 1・立体物の切断、穴加工が可能です。(タップの下穴は除く)
- 2・パイプ材の切断、穴加工が可能です。
 - ・NC円テーブルにより、外径Φ267.4まで(長さに制限があります)
 - ・端面の加工は、パイプの交差形状により、曲面にすることも可能です。
 - ・治具などを工夫することで、多種の形状素材にも加工が可能です。
- 3・平板に、開先や面取り加工が可能です。
- 4・鏡板に、面直切断や、はめ合わせ切断が可能です。
- 5・段取り替えをすることで、溶接も可能です。(切断後すぐの溶接はできません)

